

研究課題名	機械学習を用いた多発性骨髄腫の患者個別の予後予測ツールの作成 ～ Kansai Myeloma Forum データベースを用いた多施設後方視的研究～
研究の意義・目的	多発性骨髄腫に対する治療は複数ありますが、どの治療方法がどのタイミングで最も有効なのか明確に示すデータはありません。そこで、今回は Kansai Myeloma Forum に登録された、実臨床における患者様のデータをもとに、多発性骨髄腫における最適な治療方針を模索し、機械学習という手法を用いて、治療の奏功を簡便に予測できるツールを作成したいと思います。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2026年3月31日まで
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2002年4月1日～2022年3月31日までの期間に、Kansai Myeloma Forum 登録施設の各病院血液内科において症候性多発性骨髄腫と確定診断され、2レジメン以上の治療歴を有する患者さんが対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、診断日、治療歴、既往歴、検査データ】 なお、Kansai Myeloma Forum での情報収集については別研究である「骨髄腫関連疾患患者の臨床データおよび治療経過に関する疫学観察研究(承認番号：一括2023-0017)」として倫理委員会の承認を受けています。
試料・情報の他機関への提供	この研究は Kansai Myeloma Forum からデータの提供をうけて大阪公立大学医学部附属病院血液内科が実施するもので、他の施設に個人の特定につながる情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	Kansai Myeloma Forum(関西骨髄腫フォーラム：KMF) 研究事務局：国立病院機構大阪医療センター 血液内科 柴山 浩彦 KMF 参加施設:KMF ホームページ (https://www.myeloma.jp/) をご参照下さい。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学 研究責任者 岡村 浩史
本研究の利益相反	本研究に対して直接的な資金提供を受ける企業等はありませんが、データ提供を受けるKMFは、ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社と小野薬品工業株式会社から資金提供を受けて研究を実施しております。また、大阪公立大学血液腫瘍制御学教室においてはブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社から研究費を受領しております。本研究は研究者が独立して計画し実施するものであり、特定の企業が研究の実施、解析、報告に係わることはありません。 利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学 岡村 浩史 電話番号：(06) 6645-3881 FAX：(06) 6645-3880